

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 インヴァスト証券株式会社

コード番号 8709 URL <http://www.invast.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川路 猛

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 坂本 純一

TEL 03-3595-0423

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,476	—	1,475	—	407	—	446	—	431	—
25年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 818百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	69.84	68.73
25年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
26年3月期第1四半期	99,633	—	11,805	—	—	11.8
25年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 11,782百万円 25年3月期 —百万円

(注) 当社は平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行い、単元株式数を100株としておりますが、平成25年3月期の期末配当については、当該株式分割前の株式数を基準に実施しております。

なお、平成26年3月期(予想)配当金は、第2四半期末(中間)配当を無配といたしますが、期末配当は現時点において未定です。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社の主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり、業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	6,411,400 株	25年3月期	6,411,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	303,800 株	25年3月期	145,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	6,176,956 株	25年3月期1Q	6,411,400 株

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は平成26年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第1四半期及び平成25年3月期の数値については記載しておりません。
2. 平成26年3月期の期末日における配当予想額は現時点において未定であり、今後の業績等を勘案し見通しが立った時点で開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結累計期間より海外子会社「Invast Financial Services Pty Ltd.」を連結子会社とし、四半期連結財務諸表を作成しております。作成初年度にあたり、前年同四半期比及び前事業年度末比については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種の金融政策や経済対策の効果や海外経済が緩やかながらも成長率が高まっていることを背景として持ち直しの兆しが表れ始めました。

景気動向を顕著に表わす鉱工業生産指数は、昨年12月以来5ヶ月連続で上昇し、また、輸出はやや景気に変調の兆しが見られた対中国向けを除き、円安効果も手伝い底堅くなっています。

また、国内物価についても6月発表の5月消費者物価指数はマイナス圏を脱しており、今後も円安に伴う輸入物価の上昇や景気回復による需要増が見込めることなどから増加幅の拡大が見込まれています。

外国為替市場は、4月4日の日銀による「量的・質的金融緩和」の導入を受けて、再度、円安基調を強めました。前年度末に94円台だったドル円は、アベノミクスに対する期待や好調な米国経済指標を背景に約4年ぶりに100円を突破すると、5月22日には一時103円台まで上昇しました。

しかし、世界的に株式市場が調整局面に入ると、リスク回避のために為替市場の投機資金は円に回帰することとなり、ドル円は6月中旬には93円台まで下落する場面もありました。

株式市場は、アベノミクスへの期待から、債券から株式への資金シフトが顕著となり、日経平均は5月下旬には2007年12月以来となる15,000円台を回復しました。しかし、円高の進行や年初からの一本調子の上昇への反動から、6月中旬には一時12,400円台まで下落する場面もありました。

このような経済状況のもとで、当社が平成23年11月よりサービスを開始したFX自動売買サービス「シストレ24」の総口座数は、平成25年4月に4万口座を突破いたしました。

5月には、「FX24(裁量トレード)」と「シストレ24(FX自動売買サービス)」において、実際の資金を使ったリアルトレードコンテストである第3回「リアルトレード!24(にーよん)グランプリ」を開催し、多くのお客様にご参加いただきました。

こうして、当第1四半期連結累計期間の店頭FX「FX24」及び「シストレ24」によるトレーディング損益は、8億94百万円の利益となりました。

また、取引所FX「くりっく365」においても、市場が活況を呈し、当第1四半期連結累計期間の取引所FX取引の受取手数料は、5億38百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は14億76百万円となり、これから金融費用0百万円を差し引いた純営業収益は14億75百万円となりました。

販売費・一般管理費は全体で10億67百万円、営業収益から販売費・一般管理費を差し引いた営業利益は4億7百万円、経常利益は4億46百万円、四半期純利益は4億31百万円となりました。

主要な収益・費用等の状況は次のとおりであります。

① 受入手数料

当第1四半期連結累計期間の受入手数料の合計は5億77百万円となりました。

内訳は以下のとおりであります。

・委託手数料	37百万円
・取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	5億38百万円
・その他の受入手数料	2百万円

② トレーディング損益

当第1四半期連結累計期間におけるトレーディング損益は、8億94百万円の利益となりました。

これは店頭FX取引によるものであります。

③ 金融収支

当第1四半期連結累計期間における金融収益は、3百万円となりました。

一方、金融費用は0百万円となり、これを差し引いた金融収支は2百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間での金融収支の主な発生要因は店頭CFD取引によるものであります。

④ 販売費・一般管理費

当第1四半期連結累計期間における販売費・一般管理費は、10億67百万円となりました。

主な内訳は以下のとおりであります。

・取引関係費	4億15百万円
・人件費	2億29百万円
・不動産関係費	2億89百万円
・事務費	13百万円
・減価償却費	91百万円
・租税公課	12百万円
・その他	16百万円

⑤ 営業外収益

当第1四半期連結累計期間においては41百万円の営業外収益を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・受取配当金	32百万円
・その他	8百万円

⑥ 営業外費用

当第1四半期連結累計期間においては1百万円の営業外費用を計上しており、その内訳は以下のとおりであります。

・自己株式取得費用	1百万円
・為替差損	0百万円
・その他	0百万円

⑦ 特別利益

当第1四半期連結累計期間においては24百万円の特別利益を計上しており、その主な内訳は以下のとおりであります。

・金融商品取引責任準備金戻入	24百万円
----------------	-------

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は996億33百万円となりました。

この内、流動資産は944億61百万円となりました。流動資産の主な内訳は、現金・預金29億44百万円、預託金169億46百万円、短期差入保証金634億40百万円、外為取引未収入金109億78百万円であります。

また、固定資産は51億72百万円となりました。内訳は有形固定資産79百万円、無形固定資産9億5百万円、投資その他の資産41億87百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は878億28百万円となりました。

この内、流動負債は863億91百万円となり、その主な内訳は受入保証金761億83百万円、外為取引未払金96億53百万円であります。

また、固定負債の残高は13億87百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は118億5百万円となりました。

内訳としては株主資本93億81百万円、その他の包括利益累計額24億円、新株予約権22百万円であります。

この結果、自己資本比率は11.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の主力サービスである外国為替証拠金取引は、外国為替市場や株式市場等の市況、その他国内外の経済環境等に大きく左右される傾向にあり業績予想が困難であるため、業績予想の開示は行っておりません。

その代替として、営業収益等の営業指標を月次概況として開示しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間において、Invast Financial Services Pty Ltd. は、今後重要性が増すと考えられるため、連結の範囲に含めております。

また、Invast Financial Services Pty Ltd. の決算日は12月31日であります。

四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同社の四半期決算日の財務諸表（平成25年3月31日）を使用し、平成25年4月1日から四半期連結決算日平成25年6月30日までの期間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

当第1四半期連結会計期間
 (平成25年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金・預金	2,944
預託金	16,946
顧客分別金信託	2,054
顧客区分管理信託	14,861
その他の預託金	31
トレーディング商品	0
短期差入保証金	63,440
外為取引未収入金	10,978
その他	152
流動資産計	94,461
固定資産	
有形固定資産	79
無形固定資産	905
投資その他の資産	4,187
固定資産計	5,172
資産合計	99,633
負債の部	
流動負債	
受入保証金	76,183
外為取引未払金	9,653
未払法人税等	40
役員賞与引当金	22
賞与引当金	48
その他	443
流動負債計	86,391
固定負債	
繰延税金負債	1,330
その他	57
固定負債計	1,387
特別法上の準備金	
金融商品取引責任準備金	48
特別法上の準備金計	48
負債合計	87,828

(単位:百万円)

当第1四半期連結会計期間
(平成25年6月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	5,965
資本剰余金	2,809
利益剰余金	974
自己株式	△366
株主資本合計	9,381
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	2,400
為替換算調整勘定	△0
その他の包括利益累計額合計	2,400
新株予約権	22
純資産合計	11,805
負債・純資産合計	99,633

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	
受入手数料	577
委託手数料	37
取引所為替証拠金取引に係る受取手数料	538
その他の受入手数料	2
トレーディング損益	894
金融収益	3
その他の営業収益	0
営業収益計	1,476
金融費用	0
純営業収益	1,475
販売費・一般管理費	
取引関係費	415
人件費	229
不動産関係費	289
事務費	13
減価償却費	91
租税公課	12
その他	16
販売費・一般管理費計	1,067
営業利益	407
営業外収益	
受取配当金	32
その他	8
営業外収益計	41
営業外費用	
自己株式取得費用	1
為替差損	0
その他	0
営業外費用計	1
経常利益	446
特別利益	
金融商品取引責任準備金戻入	24
特別利益計	24
税金等調整前四半期純利益	471
法人税、住民税及び事業税	39
法人税等調整額	△0
法人税等合計	39
少数株主損益調整前四半期純利益	431
四半期純利益	431

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	431
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	387
為替換算調整勘定	△0
その他の包括利益合計	387
四半期包括利益	818
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	818

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年1月29日開催の取締役会決議及び平成25年5月10日開催の取締役会決議（取得枠の拡大決議）に基づき、自己株式158,700株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が210百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が366百万円となっております。